

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2011年11月16日～2021年11月12日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの受益証券
	ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、次の債券とします。</p> <p>i. インド・ルピー建ての債券</p> <p>ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの</p> <p>a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券</p> <p>b. 国際機関等が発行する債券</p> <p>※インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。</p> <p>（注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。</p> <p>ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。</p> <p>ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザー（インド）プライベート・リミテッドおよびSBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・インド・ルピー債 オープン（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第67期（決算日	2017年6月12日）
第68期（決算日	2017年7月12日）
第69期（決算日	2017年8月14日）
第70期（決算日	2017年9月12日）
第71期（決算日	2017年10月12日）
第72期（決算日	2017年11月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）」は、このたび、第72期の決算を行ないました。

ここに、第67期～第72期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4839>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM インド (円換算)		公社債 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
43期末(2015年6月12日)	11,943	60	3.2	17,897	2.7	97.3	2,064
44期末(2015年7月13日)	11,977	60	0.8	18,140	1.4	97.6	2,095
45期末(2015年8月12日)	12,053	60	1.1	18,361	1.2	96.3	2,115
46期末(2015年9月14日)	11,275	60	△ 6.0	17,310	△ 5.7	97.5	1,971
47期末(2015年10月13日)	11,641	60	3.8	17,936	3.6	96.9	2,039
48期末(2015年11月12日)	11,591	60	0.1	18,035	0.5	97.3	2,037
49期末(2015年12月14日)	11,153	60	△ 3.3	17,460	△ 3.2	97.3	1,960
50期末(2016年1月12日)	10,958	60	△ 1.2	17,307	△ 0.9	96.4	1,944
51期末(2016年2月12日)	10,158	60	△ 6.8	16,137	△ 6.8	97.0	1,805
52期末(2016年3月14日)	10,419	60	3.2	16,714	3.6	96.4	1,858
53期末(2016年4月12日)	10,220	60	△ 1.3	16,514	△ 1.2	96.7	1,824
54期末(2016年5月12日)	10,195	60	0.3	16,584	0.4	96.6	1,824
55期末(2016年6月13日)	9,938	60	△ 1.9	16,264	△ 1.9	96.4	1,885
56期末(2016年7月12日)	9,658	60	△ 2.2	15,934	△ 2.0	97.2	1,863
57期末(2016年8月12日)	9,939	60	3.5	16,601	4.2	96.9	1,924
58期末(2016年9月12日)	9,948	60	0.7	16,731	0.8	95.8	1,964
59期末(2016年10月12日)	10,073	60	1.9	17,119	2.3	94.7	2,016
60期末(2016年11月14日)	10,272	60	2.6	17,658	3.1	94.6	2,134
61期末(2016年12月12日)	11,142	60	9.1	19,356	9.6	95.1	2,527
62期末(2017年1月12日)	10,949	60	△ 1.2	19,132	△ 1.2	95.4	2,571
63期末(2017年2月13日)	10,807	60	△ 0.7	18,929	△ 1.1	95.7	2,528
64期末(2017年3月13日)	10,783	60	0.3	19,045	0.6	94.4	2,572
65期末(2017年4月12日)	10,645	60	△ 0.7	18,962	△ 0.4	94.5	2,606
66期末(2017年5月12日)	11,053	60	4.4	19,843	4.6	95.5	2,778
67期末(2017年6月12日)	10,988	60	△ 0.0	19,929	0.4	94.2	2,911
68期末(2017年7月12日)	11,217	60	2.6	20,428	2.5	95.4	3,165
69期末(2017年8月14日)	10,940	60	△ 1.9	20,007	△ 2.1	92.4	3,426
70期末(2017年9月12日)	11,001	60	1.1	20,204	1.0	91.3	3,802
71期末(2017年10月12日)	10,948	60	0.1	20,202	△ 0.0	95.6	4,200
72期末(2017年11月13日)	11,016	60	1.2	20,429	1.1	91.0	4,452

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EM インド(円換算)は、JPMorgan GBI-EM インド(インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM インド(インド・ルピーベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved. これらは、直近で知り得るデータを使用しており、これに伴い第66期末のデータを修正しております。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

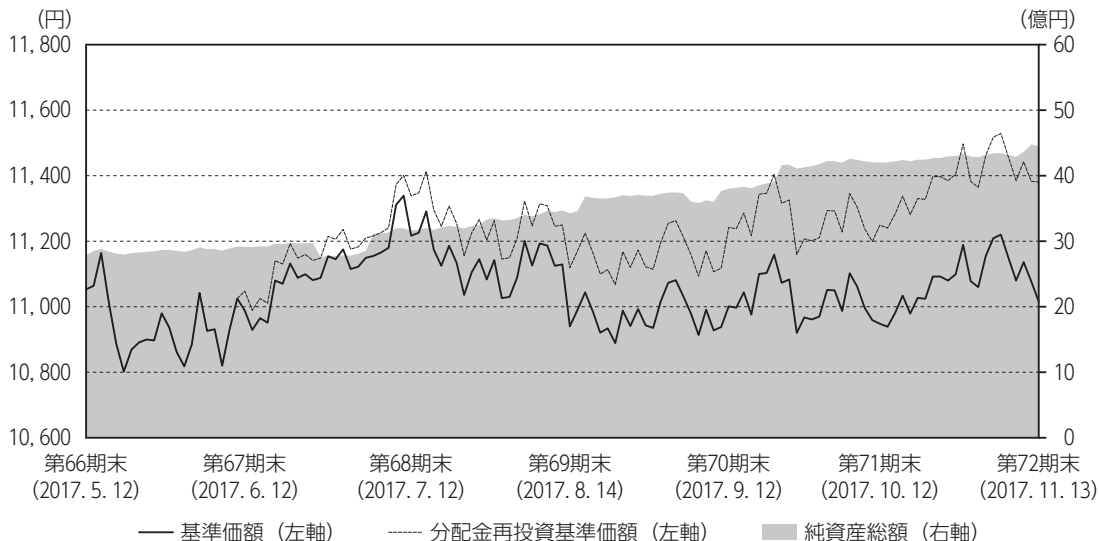
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第67期首：11,053円

第72期末：11,016円（既払分配金360円）

騰落率：3.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で下落したことがマイナス要因となった一方で、債券の利息収入がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J PモルガンGB IーEMインド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第67期	(期首) 2017年 5月12日	円 11,053	% —	19,843	% —	% 95.5
	5月末	10,818	△ 2.1	19,417	△ 2.1	94.6
	(期末) 2017年 6月12日	11,048	△ 0.0	19,929	0.4	94.2
第68期	(期首) 2017年 6月12日	10,988	—	19,929	—	94.2
	6月末	11,115	1.2	20,167	1.2	94.7
	(期末) 2017年 7月12日	11,277	2.6	20,428	2.5	95.4
第69期	(期首) 2017年 7月12日	11,217	—	20,428	—	95.4
	7月末	11,026	△ 1.7	20,073	△ 1.7	95.8
	(期末) 2017年 8月14日	11,000	△ 1.9	20,007	△ 2.1	92.4
第70期	(期首) 2017年 8月14日	10,940	—	20,007	—	92.4
	8月末	11,073	1.2	20,272	1.3	94.7
	(期末) 2017年 9月12日	11,061	1.1	20,204	1.0	91.3
第71期	(期首) 2017年 9月12日	11,001	—	20,204	—	91.3
	9月末	10,970	△ 0.3	20,132	△ 0.4	93.8
	(期末) 2017年10月12日	11,008	0.1	20,202	△ 0.0	95.6
第72期	(期首) 2017年10月12日	10,948	—	20,202	—	95.6
	10月末	11,060	1.0	20,442	1.2	94.4
	(期末) 2017年11月13日	11,076	1.2	20,429	1.1	91.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2017. 5. 13～2017. 11. 13）

■インド債券市況

インド債券金利は上昇しました。

当作成期間の前半は、インフレ率が低下する中で政策金利が引き下げられ金利は低下しました。後半は、GDP（国内総生産）成長率が市場予想を下回る中で、政府関係者から景気刺激のために財政目標を緩和することが示唆されたことや、不良債権問題の解決のために政府から国営金融機関への資本注入計画が発表されたことにより、金利は長期を中心に上昇しました。

■為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で下落しました。

当作成期間の前半は、地方選挙後に買い進まれた反動からルピーは対円で下落しましたが、後半は不良債権問題への対策が好感され上昇しました。しかし当作成期間末にかけては、GST（物品・サービス税）の税率変更が政府歳入に及ぼす影響への懸念から下落に転じました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ポートフォリオについて

(2017. 5. 13 ~ 2017. 11. 13)

当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

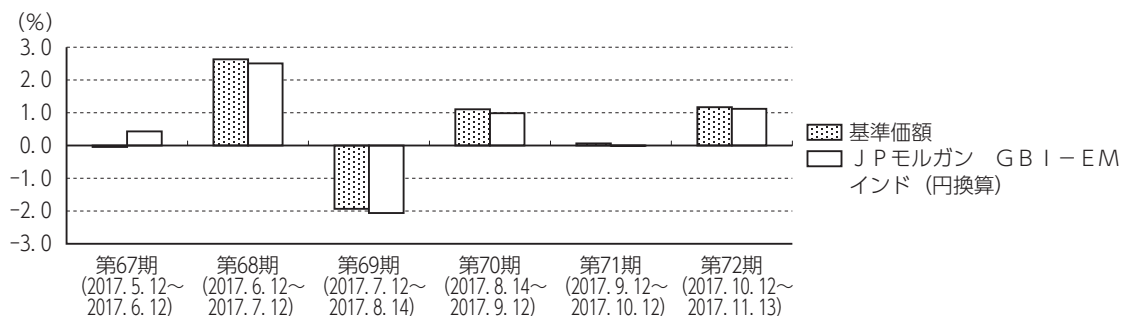
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第67期から第72期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2017年5月13日 ～2017年6月12日	2017年6月13日 ～2017年7月12日	2017年7月13日 ～2017年8月14日	2017年8月15日 ～2017年9月12日	2017年9月13日 ～2017年10月12日	2017年10月13日 ～2017年11月13日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	0.54	0.53	0.55	0.54	0.55	0.54
当期の収益（円）	46	54	46	47	40	54
当期の収益以外（円）	13	5	13	12	19	5
翌期繰越分配対象額（円）	5,418	5,415	5,405	5,396	5,378	5,374

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(a) 経費控除後の配当等収益	46.74円	54.01円	46.31円	47.29円	40.00円	54.63円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	4,277.25	4,435.77	4,538.25	4,650.46	4,727.20	4,762.52
(d) 分配準備積立金	1,154.20	985.91	880.70	758.26	671.57	617.66
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	5,478.20	5,475.71	5,465.27	5,456.02	5,438.78	5,434.83
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	5,418.20	5,415.71	5,405.27	5,396.02	5,378.78	5,374.83

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第67期～第72期 (2017. 5. 13～2017. 11. 13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	81円	0. 733%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11, 045円です。
（投 信 会 社）	(36)	(0. 328)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(42)	(0. 383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	8	0. 075	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(5)	(0. 048)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(3)	(0. 023)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	89	0. 808	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年5月13日から2017年11月13日まで)

決算期	第 67 期 ～ 第 72 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	956,883	1,957,565	205,734	418,668

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第67期～第72期）中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第67期首保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第72期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	当初設定時における取得
179	—	—	179	

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第66期末			第 72 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	1,378,706	2,129,854	4,431,589			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年11月13日現在

項 目	第 72 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	4,431,589	98.9
コール・ローン等、その他	50,387	1.1
投資信託財産総額	4,481,976	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.68円、1インド・ルピー＝1.76円です。

(注3) ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第72期末における外貨建純資産（4,309,445千円）の投資信託財産総額（4,519,671千円）に対する比率は、95.3%です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2017年5月13日～2017年11月13日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が17件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年6月12日)、(2017年7月12日)、(2017年8月14日)、(2017年9月12日)、(2017年10月12日)、(2017年11月13日)現在

項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
(A) 資産	2,936,221,345円	3,198,006,428円	3,449,265,178円	3,827,315,815円	4,228,732,590円	4,481,976,515円
コール・ローン等	38,295,435	38,174,146	39,465,543	42,246,597	48,110,595	50,387,252
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド（評価額）	2,897,925,910	3,150,508,275	3,409,799,635	3,785,069,218	4,180,621,995	4,431,589,263
未収入金	—	9,324,007	—	—	—	—
(B) 負債	24,663,830	32,558,801	23,184,543	25,037,424	28,017,738	29,849,002
未払収益分配金	15,898,126	16,932,378	18,790,611	20,738,189	23,021,896	24,248,269
未払解約金	5,238,928	12,079,795	—	—	36,929	—
未払信託報酬	3,507,160	3,507,400	4,330,486	4,212,226	4,844,802	5,456,101
その他未払費用	19,616	39,228	63,446	87,009	114,111	144,632
(C) 純資産総額（A－B）	2,911,557,515	3,165,447,627	3,426,080,635	3,802,278,391	4,200,714,852	4,452,127,513
元本	2,119,750,164	2,257,650,417	2,505,414,807	2,765,091,925	3,069,586,170	3,233,102,650
次期繰越損益金	791,807,351	907,797,210	920,665,828	1,037,186,466	1,131,128,682	1,219,024,863
(D) 受益権総口数	2,649,687,710口	2,822,063,026口	3,131,768,514口	3,456,364,912口	3,836,982,718口	4,041,378,318口
1万口当り基準価額（C/D）	10,988円	11,217円	10,940円	11,001円	10,948円	11,016円

*第66期末における元本額は2,011,385,912円、当作成期間（第67期～第72期）中における追加設定元本額は1,503,566,269円、同解約元本額は281,849,531円です。

*第72期末の計算口数当りの純資産額は11,016円です。

■損益の状況

第67期 自 2017年5月13日 至 2017年6月12日

第69期 自 2017年7月13日 至 2017年8月14日

第71期 自 2017年9月13日 至 2017年10月12日

第68期 自 2017年6月13日 至 2017年7月12日

第70期 自 2017年8月15日 至 2017年9月12日

第72期 自 2017年10月13日 至 2017年11月13日

項目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(A) 配当等収益	△ 917円	△ 946円	△ 1,060円	△ 1,054円	△ 1,053円	△ 1,185円
受取利息	1	30	—	24	—	—
支払利息	△ 918	△ 976	△ 1,060	△ 1,078	△ 1,053	△ 1,185
(B) 有価証券売買損益	3,393,386	79,211,784	△ 61,371,405	45,192,088	3,389,844	54,018,759
売買益	3,690,039	81,427,273	29,962	46,148,871	3,390,079	54,139,470
売買損	△ 296,653	△ 2,215,489	△ 61,401,367	△ 956,783	△ 235	△ 120,711
(C) 信託報酬等	△ 3,526,770	△ 3,527,018	△ 4,354,704	△ 4,235,789	△ 4,871,904	△ 5,486,622
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 134,301	75,683,820	△ 65,727,169	40,955,245	△ 1,483,113	48,530,952
(E) 前期繰越損益金	209,649,946	178,192,905	236,320,215	146,522,344	166,732,861	142,006,909
(F) 追加信託差損益金	598,189,832	670,852,863	768,863,393	870,447,066	988,900,830	1,052,735,271
（配当等相当額）	（ 1,133,338,846）	（ 1,251,803,577）	（ 1,421,275,229）	（ 1,607,370,535）	（ 1,813,819,462）	（ 1,924,718,379）
（売買損益相当額）	（△ 535,149,014）	（△ 580,950,714）	（△ 652,411,836）	（△ 736,923,469）	（△ 824,918,632）	（△ 871,983,108）
(G) 合計（D＋E＋F）	807,705,477	924,729,588	939,456,439	1,057,924,655	1,154,150,578	1,243,273,132
(H) 収益分配金	△ 15,898,126	△ 16,932,378	△ 18,790,611	△ 20,738,189	△ 23,021,896	△ 24,248,269
次期繰越損益金（G＋H）	791,807,351	907,797,210	920,665,828	1,037,186,466	1,131,128,682	1,219,024,863
追加信託差損益金	598,189,832	670,852,863	768,863,393	870,447,066	988,900,830	1,052,735,271
（配当等相当額）	（ 1,133,338,846）	（ 1,251,803,577）	（ 1,421,275,229）	（ 1,607,370,535）	（ 1,813,819,462）	（ 1,924,718,379）
（売買損益相当額）	（△ 535,149,014）	（△ 580,950,714）	（△ 652,411,836）	（△ 736,923,469）	（△ 824,918,632）	（△ 871,983,108）
分配準備積立金	302,316,419	276,544,418	271,530,297	257,692,956	250,011,198	247,455,813
繰越損益金	△ 108,698,900	△ 39,600,071	△ 119,727,862	△ 90,953,556	△ 107,783,346	△ 81,166,221

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,386,910円	15,244,530円	14,504,932円	16,345,391円	15,350,246円	22,081,265円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,133,338,846	1,251,803,577	1,421,275,229	1,607,370,535	1,813,819,462	1,924,718,379
(d) 分配準備積立金	305,827,635	278,232,266	275,815,976	262,085,754	257,682,848	249,622,817
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,451,553,391	1,545,280,373	1,711,596,137	1,885,801,680	2,086,852,556	2,196,422,461
(f) 分配金	15,898,126	16,932,378	18,790,611	20,738,189	23,021,896	24,248,269
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,435,655,265	1,528,347,995	1,692,805,526	1,865,063,491	2,063,830,660	2,172,174,192
(h) 受益権総口数	2,649,687,710口	2,822,063,026口	3,131,768,514口	3,456,364,912口	3,836,982,718口	4,041,378,318口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
		60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(10,988円)	(11,217円)	(10,940円)	(11,001円)	(10,948円)	(11,016円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2017年11月13日)

(計算期間 2016年11月15日～2017年11月13日)

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>イ. インド・ルピー建ての債券</p> <p>ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの</p> <p> i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券</p> <p> ii. 国際機関等が発行する債券</p> <p>※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。</p>
運用方法	<p>①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p> イ. 投資対象は、次の債券とします。</p> <p> i. インド・ルピー建ての債券</p> <p> ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの</p> <p> a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券</p> <p> b. 国際機関等が発行する債券</p> <p> ※インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。</p> <p> (注) 国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。</p> <p> ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。</p> <p> ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザー（インド）プライベート・リミテッドおよびSBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

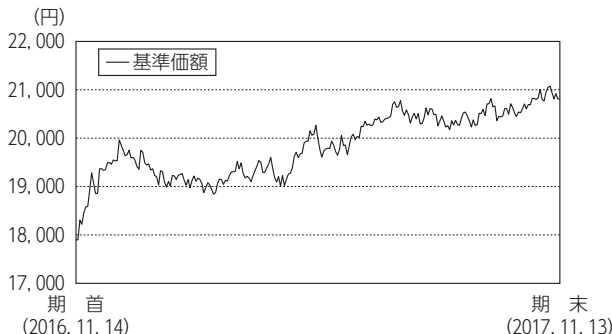
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		JPMorgan GBI-EM インド (円換算)		公社債組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2016年11月14日	17,898	—	17,658	—	95.0
11月末	18,860	5.4	18,648	5.6	94.9
12月末	19,359	8.2	19,151	8.5	94.4
2017年1月末	19,147	7.0	18,915	7.1	95.1
2月末	18,877	5.5	18,589	5.3	94.3
3月末	19,535	9.1	19,296	9.3	95.8
4月末	19,600	9.5	19,369	9.7	93.3
5月末	19,646	9.8	19,417	10.0	95.1
6月末	20,327	13.6	20,167	14.2	95.1
7月末	20,296	13.4	20,073	13.7	96.3
8月末	20,524	14.7	20,272	14.8	95.1
9月末	20,459	14.3	20,132	14.0	94.2
10月末	20,768	16.0	20,442	15.8	94.9
(期末) 2017年11月13日	20,807	16.3	20,429	15.7	91.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EM インド (円換算) は、JPMorgan GBI-EM インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用していません。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,898円 期末：20,807円 騰落率：16.3%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、債券価格の下落がマイナス要因となりましたが、債券の利息収入に加えてインド・ルピーが対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド債券市況

期の初めは、インド政府が高額紙幣の廃止を発表したことや、廃止した高額紙幣の両替に制限を設けたことで、市中に流通する資金が減り、銀行に滞留した運用資金が国債に向かったことにより、インド国内の金利は低下しました。その後、インド準備銀行 (中央銀行) が、2017年2月に政策スタンスを「緩和的」から「中立的」に変更したこと、4月には将来的なインフレ圧力の上昇に警戒感を示したことなどを背景に、金利は上昇しました。5月以降は、インフレ率が低下する中で政策金利が引き下げられ金利は低下しましたが、GDP (国内総生産) 成長率が市場予想を下回る中で、政府関係者から景気刺激のために財政目標を緩和することが示唆されたことや、不良債権問題の解決のために政府から国営金融機関への資本注入計画が発表されたことにより、金利は長期を中心に上昇しました。

○為替相場

期の初めは、高額紙幣の廃止をめぐる懸念がインド・ルピーを圧迫しましたが、中央銀行の介入などでルピーが下支えされたほか、中央銀行が政策金利を予想に反し据え置いたことでルピーは反発しました。その後は、政府の予算案が、財政健全化の方向性を維持しつつ道路や鉄道などのインフラ (社会基盤) 投資を重視する内容となったことが、ルピーの上昇要因となりました。また、フランス大統領選挙を終えてフランスのEU (欧州連合) 離脱懸念が後退し、リスクセンチメントが改善したことを受けて、ルピーは対円で上昇しました。期の後半は、それまでの上昇の反動から一時的に下落しましたが、不良債権問題への対策が好感されて上昇に転じました。しかし、期末にかけてGST (物品・サービス税) の税率変更が政府歳入に及ぼす影響への懸念からやや下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基

準備額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

【今後の運用方針】

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見直し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	27
（保管費用）	(19)
（その他）	(8)
合 計	27

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年11月15日から2017年11月13日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
India Government Bond (インド) 6.62% 2051/11/28	243,281	Oil India International Pte Ltd (シンガポール) 4% 2027/4/21	114,916
ICICI Bank Ltd (インド) 7.6% 2023/10/7	188,931	Hindustan Petroleum Corp Ltd (インド) 4% 2027/7/12	114,838
HDFC Bank Ltd (インド) 7.95% 2026/9/21	178,404	Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	113,970
India Government Bond (インド) 6.79% 2027/5/15	176,386	India Government Bond (インド) 7.72% 2055/10/26	87,797
India Government Bond (インド) 6.97% 2026/9/6	173,397	Adani Transmission Ltd (インド) 4% 2026/8/3	86,169
Bharti Airtel Ltd (インド) 4.375% 2025/6/10	122,628	Bank of India/London (インド) 3.625% 2018/9/21	70,106
Hindustan Petroleum Corp Ltd (インド) 4% 2027/7/12	111,888	Axis Bank Ltd/Dubai (インド) 2.875% 2021/6/1	61,914
Oil India International Pte Ltd (シンガポール) 4% 2027/4/21	111,508	Bharti Airtel Ltd (インド) 4.375% 2025/6/10	61,863
Adani Transmission Ltd (インド) 4% 2026/8/3	111,102	HDFC Bank Ltd/Bahrain (インド) 3% 2018/3/6	41,688
Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	110,449	ICICI Bank Ltd/Dubai (インド) 4.7% 2018/2/21	22,998

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年11月15日から2017年11月13日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
		—	147
	特殊債券	(—)	(—)
	社 債 券	6,601	6,427
		(—)	(—)
国	インド	千インド・ルピー	千インド・ルピー
		554,242	50,750
	国債証券	(—)	(—)
	社 債 券	518,898	—
		(—)	(—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2016年11月15日から2017年11月13日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	5,550	1,316

(注1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 3,420	千アメリカ・ドル 3,604	千円 409,785	% 9.1	% —	% 4.3	% 3.7	% 1.1
インド	千インド・ルピー 2,010,000	千インド・ルピー 2,113,663	千円 3,720,047	% 82.3	% —	% 74.3	% 8.1	% —
合 計	—	—	4,129,833	91.4	—	78.6	11.7	1.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期			末			償 還 年 月 日	
				額 面 金 額	評 価 額		額 面 金 額	評 価 額			
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額		
アメリカ	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円				2018/10/05	
	Oil India Ltd	社 債 券	1.0000	100	99	11,312				2024/04/17	
	Bharti Airtel Ltd	社 債 券	5.3750	200	222	25,319				2025/06/10	
	Bharat Petroleum Corp Ltd	社 債 券	4.3750	800	811	92,298				2022/10/25	
	Adani Transmission Ltd	社 債 券	4.6250	650	692	78,731				2026/08/03	
	Reliance Holdings USA Inc	社 債 券	4.0000	250	250	28,437				2022/02/14	
	State Bank of India London	社 債 券	5.4000	700	768	87,369				2024/04/17	
	INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	4.8750	400	433	49,261				2019/02/26	
			社 債 券	3.9170	320	325	37,053				
	通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		3,420	3,604	409,785				
インド	India Government Bond	国債証券	%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円				2024/11/14	
	India Government Bond	国債証券	9.1500	50,000	55,762	98,141				2026/07/09	
	India Government Bond	国債証券	8.3300	100,000	108,081	190,222				2030/12/05	
	India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	170,907	300,796				2023/05/20	
	India Government Bond	国債証券	7.1600	50,000	50,739	89,300				2032/08/02	
	India Government Bond	国債証券	8.3200	50,000	54,262	95,501				2027/09/21	
	India Government Bond	国債証券	8.2800	100,000	107,955	190,000				2042/12/31	
	India Government Bond	国債証券	8.3000	100,000	108,775	191,444				2043/12/23	
	India Government Bond	国債証券	9.2300	100,000	121,047	213,042				2030/09/30	
	India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	57,731	101,607				2044/12/01	
	India Government Bond	国債証券	8.1700	100,000	107,993	190,067				2051/11/28	
	India Government Bond	国債証券	6.6200	150,000	137,185	241,446				2027/05/15	
	India Government Bond	国債証券	6.7900	100,000	98,910	174,081				2030/05/09	
	India Government Bond	国債証券	7.6100	50,000	51,610	90,833				2022/12/19	
	India Government Bond	国債証券	6.8400	50,000	50,241	88,424				2026/09/06	
	India Government Bond	国債証券	6.9700	100,000	100,208	176,366				2022/03/07	
	Food Corp of India	特殊債券	9.9500	50,000	54,946	96,705				2030/01/21	
	EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	8.1500	50,000	52,094	91,686				2027/03/09	
	Power Grid Corp of India Ltd	社 債 券	7.8900	50,000	51,384	90,436				2020/01/31	
	Power Finance Corp Ltd	社 債 券	9.7000	50,000	52,398	92,220				2026/09/21	
HDFC Bank Ltd	社 債 券	7.9500	100,000	101,904	179,351				2023/10/07		
ICICI Bank Ltd	社 債 券	7.6000	110,000	110,165	193,890						

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千円		
	Axis Bank Ltd	社 債 券	7.6000	千インド・ルピー 50,000	千インド・ルピー 49,959	87,928	2023/10/20
	Axis Bank Ltd	社 債 券	8.8500	50,000	53,224	93,674	2024/12/05
	Housing Development Finance Corp Ltd	社 債 券	8.2000	50,000	51,003	89,766	2021/07/29
	LIC Housing Finance Ltd	社 債 券	7.5850	50,000	48,715	85,739	2020/06/11
	INDIAN RENEW ENERGY DEV	社 債 券	8.0500	50,000	52,070	91,643	2027/03/29
	NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	54,391	95,729	2024/09/22
通貨小計	銘柄数	27銘柄					
	金 額			2,010,000	2,113,663	3,720,047	
合 計	銘柄数	35銘柄					
	金 額					4,129,833	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 直物為替先渡取引残高

2017年11月13日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	420	—

(注1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注2) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,519,671,533円
コール・ローン等	273,962,507
公社債（評価額）	4,129,833,728
未収利息	87,597,965
前払金	371,635
前払費用	27,905,698
(B) 負債	1,389,632
未払金	718,452
未払解約金	536,180
その他未払費用	135,000
(C) 純資産総額 (A - B)	4,518,281,901
元本	2,171,533,554
次期繰越損益金	2,346,748,347
(D) 受益権総口数	2,171,533,554口
1万口当り基準価額 (C / D)	20,807円

* 期首における元本額は1,282,098,195円、当期中における追加設定元本額は1,248,879,204円、同解約元本額は359,443,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）41,678,571円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）2,129,854,983円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,807円です。

■投資信託財産の構成

2017年11月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,129,833	91.4
コール・ローン等、その他	389,837	8.6
投資信託財産総額	4,519,671	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.68円、1インド・ルピー＝1.76円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（4,309,445千円）の投資信託財産総額（4,519,671千円）に対する比率は、95.3%です。

■損益の状況

当期 自 2016年11月15日 至 2017年11月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	204,502,031円
受取利息	204,539,193
支払利息	△ 37,162
(B) 有価証券売買損益	192,941,529
売買益	264,549,697
売買損	△ 71,608,168
(C) 先物取引等損益	25,411,092
取引益	46,362,375
取引損	△ 20,951,283
(D) その他費用	△ 4,337,346
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	418,517,306
(F) 前期繰越損益金	1,012,565,585
(G) 解約差損益金	△ 358,626,984
(H) 追加信託差損益金	1,274,292,440
(I) 合計 (E + F + G + H)	2,346,748,347
次期繰越損益金 (I)	2,346,748,347

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。